

とりぎん

# 経済動向

## 鳥取県経済 5月の動き

### 概況

県内景況は、生産活動は低水準で足元も弱含みの状況が続いており、雇用情勢や住宅着工、公共工事は一進一退の状況である。個人消費は引き続き低調に推移しており、総じて見れば低水準で横ばいの状況が続いている。

生産活動では、鉱工業生産指数、出荷指数ともに前月比（季調済）は上昇に転じたが、前年同月比（原指数）では生産指数は2ヶ月連続で前年を下回った。個人消費では、自動車販売が3ヶ月連続で前年比マイナスとなり、百貨店も4ヶ月連続で減少し、スーパー（店舗調整後）も10ヶ月連続で前年を下回った。建設では、住宅着工戸数は3ヶ月ぶりに前年を上回ったが、公共工事の請負金額は2ヶ月ぶりに前年を下回った。

生産活動をみると、鉱工業生産指数（季調済）は、電気機械やパルプ・紙・紙加工品などが低下したものの、一般機械や食料品・たばこなどは上昇し、前月比5.4%上昇の72.1となった。出荷指数は、電気機械やパルプ・紙・紙加工品などが低下したが、食料品・たばこや一般機械などが上昇し、同1.4%上昇の87.9となった。（鉱工業指数は17年年間補正があり遡及改訂）

建設では、公共工事の請負金額は県で増加したが、独立行政法人等と市町村、国が大幅に減少し、全体でも前年同月比69.9%減と2ヶ月ぶりに前年を下回った。受注件数は同21.1%減と4ヶ月連続の減少となった。新設住宅着工戸数は、分譲住宅（前年同月比21.7%減）と持家（同9.5%減）が減少したものの、貸家（同18.8%増）が増加し、総数でも3ヶ月ぶりに前年を上回った。

個人消費では、百貨店売上が前年同月比2.7%減と4ヶ月連続で前年を下回り、スーパーも10ヶ月連続で減少した。ホームセンターは5ヵ月ぶりに前年を上回ったが、家電量販店は再び前年割れとなった。自動車販売は、軽自動車（前年同月比3.5%増）は2ヶ月連続で前年比プラスとなったが、乗用車（同18.5%減）が3ヶ月連続で減少し、総数（同7.7%減）でも3ヶ月連続で前年を下回った。

企業倒産件数5件（前年同月比66.7%増）、負債総額25億51百万円（同4.2倍）とともに前年を上回った。

雇用情勢は、新規求職者数は2ヵ月連続で前年比マイナスとなったが、新規求人人数は5ヶ月連続のプラスとなった。新規求人倍率は1.13倍（前月1.24倍）で前月比0.11ポイント下回った。有効求人倍率も0.78倍（前月0.80倍）と前月比0.02ポイント下回り、99ヶ月連続で1.0倍を割り込んだ。

鳥取市の消費者物価指数は98.3で、前月比で0.6ポイント上回り、前年同月比でも0.2ポイント上回り13ヶ月ぶりに前年を上回った。

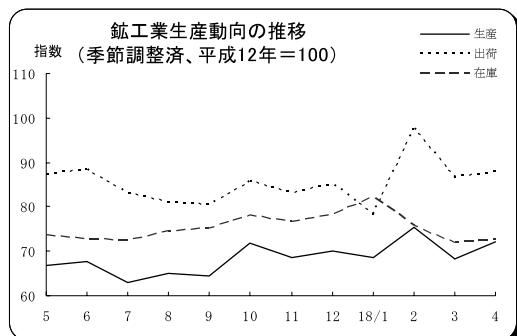
# 生産

## 【鉱工業生産動向】

4月の鉱工業生産動向では、季節調整済の生産指数は、電気機械やパルプ・紙・紙加工品などが低下したものの、一般機械や食料品・たばこなどは上昇し、前月比5.4%上昇の72.1となった。出荷指標は、電気機械やパルプ・紙・紙加工品などが低下したが、食料品・たばこや一般機械などが上昇し、同1.4%上昇の87.9となった。在庫指標も、パルプ・紙・紙加工品や木材・木製品などが低下したが、電気機械や食料品・たばこなどが上昇し、同1.1%上昇の72.7となった。

原指数(前年比)では、生産指数は、木材・木製品や繊維などは上昇したが、金属製品や電気機械、輸送機械などが低下し、前年比2.8%低下の71.8となり2ヶ月連続で前年を下回った。出荷指標は、木材・木製品や鉄鋼などは

上昇したが、食料品・たばこや電気機械などが低下し、同15.6%低下の86.4となった。在庫指標は、パルプ・紙・紙加工品や食料品・たばこなどが上昇したが、一般機械や電気機械、金属製品などで低下し、同1.4%低下の69.0と3ヶ月連続で前年を下回った。



指 数	鳥取県業種別鉱工業生産指数 (平成12年=100、指数、前月比は季節調整済、前年比、前年同月比は原指数)												全 国 鉱工業 生 産 12年= 100	
	鉱 工 業		鐵 鋼	金 属 製 品	一 般 機 械	電 機	氣 械	窯 土 石	パ ル プ 紙 ・ 紙 加 工 品	繊 維	食 料 品 タ バ コ	輸 送 機	木 材 ・ 木 製 品	
	ウエイト	前月比	前 年 比											
14 年	75.0	-	▲ 3.5	7.7	▲ 8.2	▲ 50.0	7.9	▲ 4.9	4.8	▲ 18.7	▲ 6.3	4.1	▲ 0.1	▲ 1.3
15 年	76.5	-	2.0	10.9	3.9	29.1	5.2	▲ 11.3	▲ 8.5	▲ 12.8	▲ 3.2	13.2	▲ 0.9	3.3
16 年	83.1	-	8.7	7.0	7.2	30.0	12.5	2.3	9.6	▲ 11.2	5.3	5.8	▲ 10.9	5.5
17 年	69.5	-	▲ 16.4	▲ 8.1	▲ 8.3	▲ 34.0	▲ 29.1	▲ 9.5	0.4	▲ 5.2	3.8	2.6	▲ 4.9	1.1
17. 4	73.7	0.4	▲ 13.2	▲ 3.0	8.8	▲ 48.7	▲ 23.6	▲ 12.3	0.4	0.2	6.2	50.3	▲ 13.0	▲ 0.1
5	66.9	▲ 9.2	▲ 23.2	▲ 23.0	▲ 5.6	▲ 45.4	▲ 39.2	1.6	▲ 3.2	▲ 6.5	3.7	▲ 8.5	▲ 11.8	1.3
6	67.6	1.0	▲ 20.5	▲ 12.0	▲ 19.8	▲ 48.3	▲ 34.6	▲ 4.6	▲ 2.1	▲ 7.2	5.9	▲ 29.4	1.1	▲ 0.2
7	63.0	▲ 6.8	▲ 25.2	▲ 13.8	▲ 7.6	▲ 37.4	▲ 45.2	▲ 10.1	▲ 0.7	3.6	▲ 4.9	13.5	▲ 3.1	▲ 2.6
8	65.0	3.2	▲ 19.2	▲ 3.8	▲ 4.4	▲ 39.5	▲ 38.7	2.0	▲ 4.3	▲ 2.9	9.2	64.2	▲ 9.9	1.4
9	64.3	▲ 1.1	▲ 21.4	▲ 8.6	▲ 6.6	▲ 26.7	▲ 38.9	▲ 5.4	1.3	▲ 8.6	3.3	5.4	▲ 2.7	0.9
10	71.9	11.8	▲ 9.4	▲ 12.6	▲ 9.2	▲ 6.6	▲ 18.9	▲ 5.7	▲ 2.2	▲ 2.9	3.2	▲ 24.9	0.8	2.1
11	68.7	▲ 4.5	▲ 12.1	▲ 6.4	▲ 6.4	▲ 4.5	▲ 21.2	▲ 8.4	▲ 3.2	▲ 1.1	▲ 0.5	▲ 24.5	▲ 11.5	3.4
12	70.2	2.2	▲ 21.2	7.9	▲ 27.6	▲ 31.7	▲ 32.1	▲ 13.8	2.2	▲ 10.1	▲ 9.6	▲ 3.8	▲ 5.9	3.5
18. 1	68.6	▲ 2.3	▲ 10.8	6.3	▲ 10.8	▲ 28.1	▲ 15.2	21.3	2.4	▲ 1.9	▲ 12.2	▲ 21.3	8.4	2.7
2	75.4	9.9	3.8	16.4	▲ 19.6	7.6	14.0	20.8	1.0	2.9	▲ 14.2	5.2	12.4	3.9
3	68.4	▲ 9.3	▲ 7.8	8.2	▲ 6.4	▲ 26.2	▲ 5.9	▲ 3.2	▲ 2.6	4.1	▲ 14.9	▲ 13.1	11.5	3.1
p4	72.1	5.4	▲ 2.8	1.3	▲ 12.3	6.3	▲ 2.8	▲ 3.3	3.0	9.8	▲ 7.2	▲ 27.8	16.4	3.6
18年4月の指標(季調済)	72.1	-	-	121.6	80.5	38.5	65.4	69.2	97.4	55.7	93.0	130.5	90.5	105.1

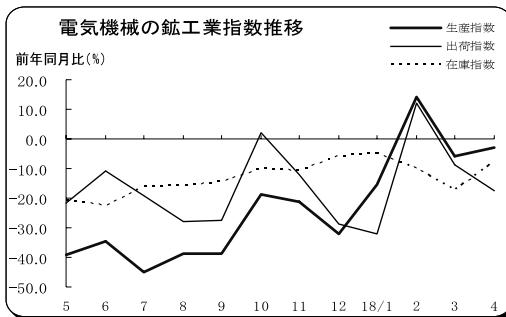
※pは速報値、rは修正値

※平成17年4月以降及び17年年間の数値は、年間補正後数値に訂正。

# 生産

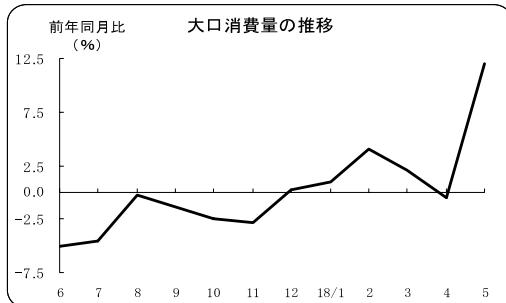
## 【電気機械】前年比で2ヶ月連続の低下

電気機械の生産指数（原指数、4月）は、前年同月比で、電気機械工業（同11.6%増）と情報通信機械（前年同月比5.6%増）は上昇したが、電子部品・デバイス（同10.4%減）が低下し、同2.8%低下し72.7となった。出荷指数（原指数）は情報通信機械（同3.1%増）が増加したが、電子部品・デバイス（同34.9%減）などが低下し、同17.7%低下の93.2となった。在庫指数（原指数）は情報通信機械（同30.2%増）などが増加したが、電子部品・デバイス（同27.3%減）が低下し、同8.1%減の46.4と低下した。尚、17年年間補正の実施により、17年1月からの指標を遡及改定している。



## 【大口電力消費量】2ヶ月ぶりに増加

5月の大口電力使用量は、主力の機械（前年同月比9.8%増）やパルプ・紙（同23.7%増）、鉄鋼（同19.4%増）などが前年比プラスとなり、全体でも同12.0%増と2ヶ月ぶりに前年を上回った。



## 【水産加工・食品】漁獲量が4ヶ月ぶりに増加

境港の5月の漁獲量は、引続き海水温が例年に比べ低かったが片口イワシが好調で、9,781トン（前年同月比8.1%増）と4ヶ月ぶりに増加した。漁獲金額も13億48百万円（同15.8%増）と4ヶ月ぶりに前年を上回った。

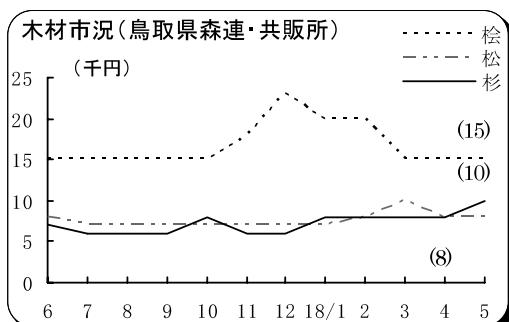
水揚げを魚種別にみると、片口イワシ3,948トン（同24.0倍）やマイワシ（同141.6%増）、イカ（同90.1%増）などが増加した。主力のアジ2,136トン（同43.6%減）やサバ39トン（同35.0%減）などは減少した。ベニズワイガニ1,182トン（同1.6%減）は3ヶ月連続で前年を下回った。

水産加工品は、原材料不足や燃料費等の諸経費の高止まり傾向が続いているものの、販売価格には転嫁できない状況が続いている。

## 【木材】価格が弱含み

住宅建設では、持家系の木造住宅が増加傾向を示すなど、需給関係も改善の兆しが窺える。

国産素材の荷動きについて、鳥取県森林組合連合会木材共販所（鳥取）の5月の木材市の状況をみると、杉材が全国的に品不足のため、良材を中心に買気旺盛であった。



注 1. 各月20日の市況「中値」。

2. 価格は1立方m当たり。寸法は杉は長さ3m、末口14~16cm。桧は長さ3m、末口16~18cm。松は長さ3m、末口20~28cm。

# 建設

## 【公共工事】 請負金額は大幅な減少

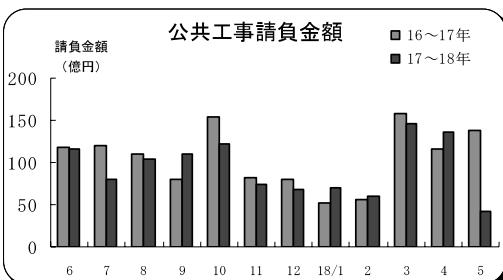
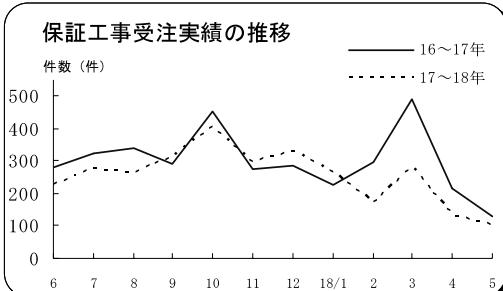
5月の県内の公共工事の受注（西日本建設業保証鳥取支店の保証取扱）は、件数が101件（前年同月比21.1%減）と大幅な減少が続き、請負金額も41億46百万円（同69.9%減）と2ヶ月ぶりに前年を下回った。

請負金額を発注者別にみると、県（同11.4%増）は増加したが、独立行政法人等（同89.5%減）や市町村（同71.0%減）、国（同32.6%減）が減少し、全体でも再び減少に転じ一進一退の状況が続いている。

大型工事は、中国地方整備局の志戸坂峠道路毛谷改良工事（智頭町、3億89百万円）、西日本高速道路（株）中国支社の鳥取自動車道智頭用瀬トンネル工事（智頭町、3億23百万円）などだった。

公共工事請負金額（平成18年4月～5月）			(単位=億円、%)		
発注者別	地区別		工種別		前年同期比
	前年同期比	前年同期比	前年同期比	前年同期比	
国	86.7 ▲ 5.5	鳥取	55.0 ▲ 52.1	木	101.0 ▲ 39.4
独立行政法人等	9.3 ▲ 87.4	八頭	17.1 ▲ 57.4	建築	31.3 9.3
鳥取県	90.7 11.6	倉吉	58.7 0.8	電気	22.7 ▲ 51.7
市町村	36.7 ▲ 24.8	米子	29.9 2.0	管	15.0 149.7
その他	3.3 ▲ 73.0	日野	15.8 30.7	その他	6.6 4.0
合計	176.5 ▲ 30.7				

資料=西日本建設業保証㈱鳥取支店の  
「公共工事動向」



## 【住宅着工】 総数は3ヶ月ぶりに増加

5月の県内の新設住宅着工戸数は、分譲住宅が4ヶ月ぶりに減少し、持家も減少に転じたが、貸家が前年を上回り、合計453戸（前年同月比1.3%増）と3ヶ月ぶりに増加した。

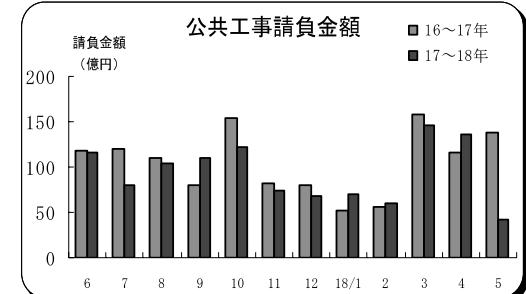
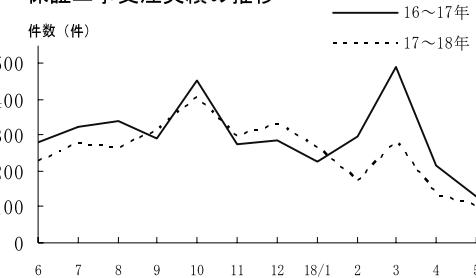
用途別では、分譲住宅が47戸（同21.7%減）と4ヶ月ぶりに減少し、持家も172戸（同9.5%減）と再び減少に転じたが、貸家（給与住宅を含む）は234戸（同18.8%増）と3ヶ月ぶりに前年を上回った。

地区別（5月）では、米子市が貸家が大幅に減少したことなどから総数でも減少したが、他の地区は貸家が増加したことなどから増加した。

地区別新設住宅着工戸数(平成18年5月) (単位=戸、%)

	総数	前年同期比	持家	前年同期比	分譲住宅	前年同期比	貸家系	前年同期比
合計	453	1.3	172	9.5	47 ▲ 21.7	234	18.8	
鳥取市	269	3.1	62	▲ 22.5	44 ▲ 24.1	163	32.5	
米子市	58	▲ 40.8	37	▲ 14.0	2	—	19	▲ 65.5
倉吉市	35	118.8	12	▲ 20.0	1	0.0	22	—
境港市	10	0.0	10	11.1	0	▲ 100.0	0	—
郡部	81	30.6	51	18.6	0	—	30	57.9

## 保証工事受注実績の推移



# 消 費

## 【百貨店売上】 4ヶ月連続で減少

5月の県内3百貨店の売上高は、食料品が11ヶ月ぶりに前年を上回ったが、主力の衣料品が天候不順の影響を受け前年割れとなるなどで、20億8百万円（前年同月比2.7%減）と4ヶ月連続で前年を下回った。

品目別にみると、身回品（同14.7%増）は10ヶ月連続で増加し、食料品（同7.6%増）も増加に転じたが、主力の衣料品（同5.0%減）や家庭用品（同29.2%減）、食堂・喫茶（同6.5%減）、雑貨（同0.6%減）は減少した。

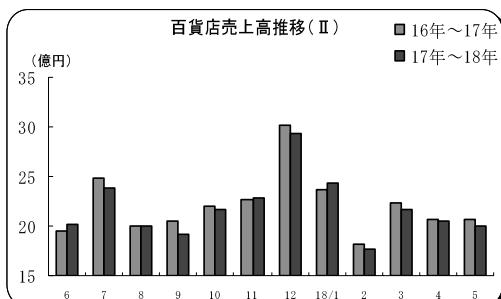
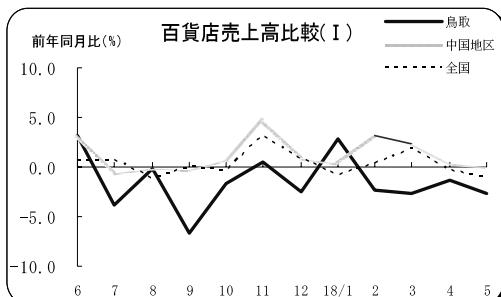
家庭用品が4ヶ月、食堂・喫茶は23ヶ月連続で前年割れとなつた。

全国の売上高は前年同月比1.1%減と2ヶ月連続で減少したが、中国地区は前年と同水準となり8ヶ月連続で増加基調が続いている。

百貨店売上高  
(単位=百万円、%)

	18年5月	前年同月比
合計	2,008	▲ 2.7
衣料品	893	▲ 5.0
身回品	157	14.7
雑貨	299	▲ 0.6
家庭用品	141	▲ 29.2
食料品	415	7.6
食堂・喫茶	70	▲ 6.5
サービス他	33	25.2

注：単位未満四捨五入



## 【自動車販売】 3ヶ月連続で減少

5月の新車販売台数（軽自動車を含む）は、軽自動車が2ヶ月連続で増加したが、乗用車が3ヶ月連続で減少し、合計でも1,990台（前年同月比7.7%減）と3ヶ月連続で前年を下回った。

車種別にみると、乗用車は788台（同18.5%減）と3ヶ月連続で減少した。内訳は、普通車（排気量2000cc超）が247台（同15.1%減）と3ヶ月連続で減少し、小型車も541台（同20.0%減）と3ヶ月連続で前年を下回った。

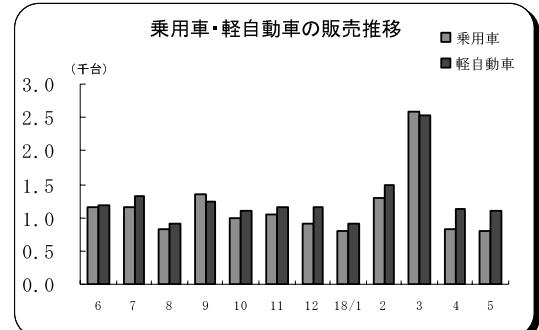
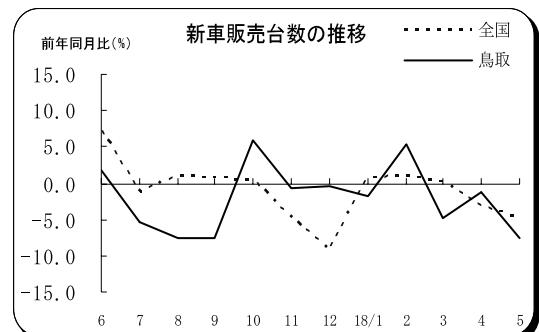
貨物車等も113台（同17.5%減）と5ヶ月連続で前年割れとなつた。

軽自動車は1,088台（同3.5%増）と2ヶ月連続で増加した。中古車は406台（同0.5%減）と2ヶ月連続で前年を下回った。

自動車販売台数  
(単位=台、%)

	18年5月	前年同月比
新車合計	1,990	▲ 7.7
乗用車	788	▲ 18.5
普通車	247	▲ 15.1
小型車	541	▲ 20.0
貨物車等	113	▲ 17.5
バス	1	0.0
軽自動車	1,088	3.5
中古登録車	406	▲ 0.5

資料 = 鳥取県自動車販売店協会



## 雇用

### ～新規求人倍率、有効求人倍率とも低下～

5月の県内の職業紹介状況をみると、新規求人数は前年同月比で5ヶ月連続して増加したが、新規求職者数は2ヶ月連続で減少した。新規求人数は3,911人（前年同月比7.7%増）、新規求職者数は3,695人（同0.2%減）だった。

新規求人倍率（季節調整値）は1.13倍で、前月（1.24倍）より0.11ポイント低下した。

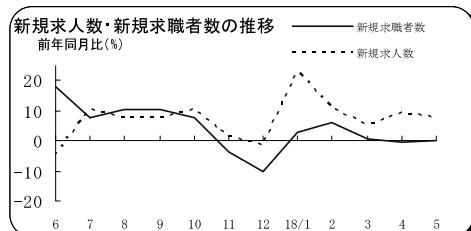
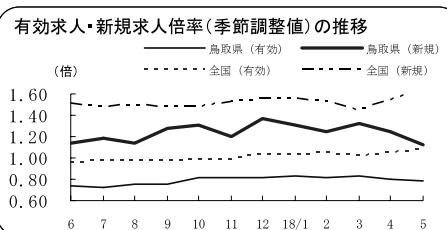
有効求人倍率（季節調整値）も0.78倍で、前月（0.80倍）より0.02ポイント低下し、99ヶ月連続で1.0倍を割り込んでいる。

新規求人数の一般は2,574人（前年同月比7.7%増）であり、業種別では公務・その他45人（同95.7%増）やサービス業（その他）637人（同60.9%増）などの業種で増加した。

パートの新規求人数は1,337人（同7.6%増）で、業種別では運輸業40人（同81.8%増）や食料品製造業82人（同32.3%増）などで増加した。

雇用保険の資格喪失者（離職者）は2,466人（同2.3%減）で、うち事業主の都合による解雇は374人（同51.4%増）だった。

雇用保険の受給者実人員は4,076人（同3.0%減）と3ヶ月連続で前年を下回った。



## 企業倒産

### ～負債総額の増加が続く～

5月の県内企業の倒産（東京商工リサーチ鳥取・米子支店調べ、負債総額1千万円以上）は、件数が5件（前年同月比66.7%増）、負債総額は2,551百万円（同420.6%増）となり、3ヶ月連続で前年を上回った。

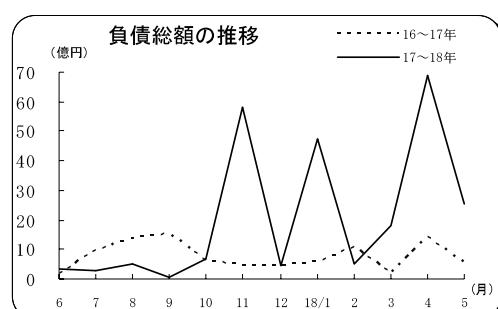
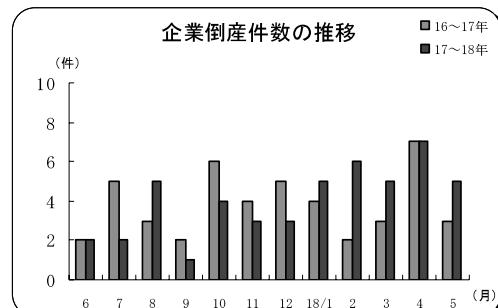
前月との比較では、件数は2件（前月比28.6%減）減少し、負債総額も4,318百万円（同62.9%減）減少した。業種別では建設業2件、旅館業、衣服販売、イカ釣業が各1件で、原因は、販売不振による業績の低迷が3件、放漫経営とその他が各1件だった。地区別では西部地区4件、東部地区1件だった。

#### 5月の主な企業倒産

（金額単位＝百万円）

業種	所在地	負債額	倒産原因
旅館業	米子市	2,100	販売不振
建設業	鳥取市	250	放漫経営
農林水産業	境港市	146	その他の

資料=㈱東京商工リサーチ鳥取・米子支店





## 夏のボーナス受取予想額 僅かであるが減少予想 ～ボーナス・消費アンケート調査結果～

鳥取銀行が5月に実施したアンケート調査結果によると、平成18年夏のボーナスの受取予想金額は44万1千円で、4年ぶりの増加となつた昨年夏と比べて8千円の減少予想となつた。

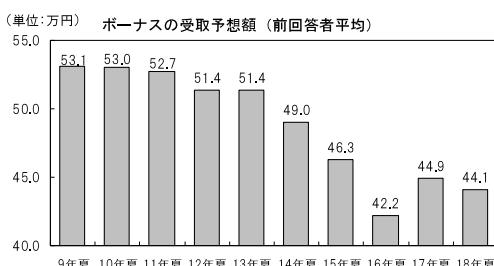
### 1. アンケート調査の概要

鳥取県内の勤労世帯の主婦など家計を主に取仕切る方を対象に、5月上旬から中旬にかけてアンケート調査を行つた。鳥取銀行各支店を通じ1,000人に依頼、559人から回答を頂いた。

### 2. ボーナスの予想金額

平成18年夏のボーナスの受取予想金額は、全回答者の平均で44万1千円となつた。

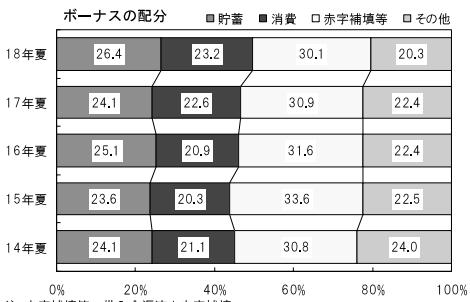
4年ぶりの増加予想となつた昨年夏と比べて8千円、1.6%減少する予想となつたが、減少額も僅かであり、また昨年と比べ、受取予想額が比較的低い若い年代的回答が増えたことから、鳥取県内勤労世帯の今年の夏のボーナス受取額は昨年とほぼ同水準と予測される。



### 3. ボーナスの使いみち

#### (1) 配分

ボーナスの配分は、「貯蓄」に26.4%、「(買物などの) 消費」に23.2%、「借金・月賦などの返済」と「毎月の家計の赤字補填」の合計に30.1%を回す予定となり、「貯蓄」と「(買物などの) 消費」が昨年の夏と比べ増加した。

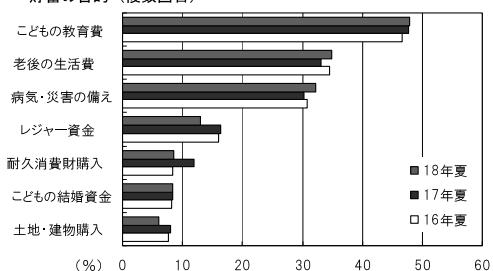


#### (2) 貯蓄

貯蓄の目的（複数回答）は「子どもの教育費」が最も多く、次いで「老後の生活費」、「病気・災害の備え」と続いた。

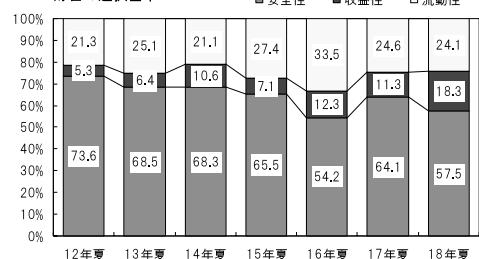
昨年夏と比べると「老後の生活費」、「病気・災害の備え」などが増加した。

貯蓄の目的（複数回答）



貯蓄する際の金融関連商品の選択基準（最も重視するもの）は、「安全性」重視が57.5%と最も多かったが、昨年夏と比べ減少し、「収益性」重視が増加した。

貯蓄の選択基準



### (3) 買物

夏のボーナスで買いたい商品（複数回答）は、「洋服」が例年通りトップで、以下「テレビ」、「パソコン・パソコン周辺機器」、「スポーツ用品」、「デジタルカメラ」の順で続いた。

昨年の夏との比較で増加したのは、「テレビ」、「乗用車」などで、逆に「デジタルカメラ」、「DVDプレイヤー」等が減少した。

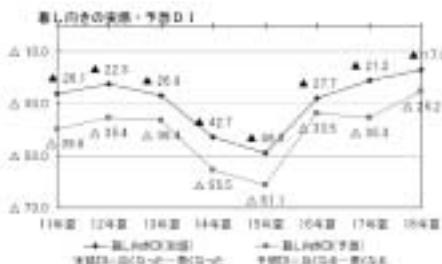
購入予定品目(複数回答)	〔単位:%〕			
	16年度	17年度	18年度	増減 (△+△)
洋服	39.3	37.7	35.9	▲1.6
テレビ	9.5	9.4	8.6	7.2
パソコン・パソコン周辺機器	16.3	15.1	14.6	▲0.5
スポーツ用品	5.0	4.8	4.6	▲0.2
デジタルカメラ	10.1	9.4	7.2	▲2.2
乗用車	3.8	5.8	7.2	1.4
FAX・電話(携帯含む)	7.1	5.5	6.6	1.1
DVDプレイヤー	3.2	10.2	6.4	▲3.8
家電	7.1	6.1	6.4	0.3
ルームエアコン	8.2	5.0	6.1	1.1
オーディオ機器	4.4	4.4	5.5	1.1
洗濯機	3.3	3.3	4.7	1.4

## 4. 暮らし向きと消費

### (1) 暮し向きの変化

現在の暮らし向きの実感を示す「実感D I (良くなつたー悪くなつた)」は昨年夏より改善し、また今後の暮らし向きの予想を示す「予想D I (良くなるー悪くなる)」も改善に向かった。

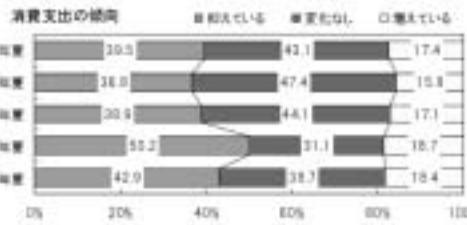
現在の暮らし向きの実感と今後の暮らし向きの予想のどちらも、いまだ水面下であるが、近年改善に向かっており、家計の厳しさは少なからず和らいでいるものと考えられる。



### (2) 家計の消費支出の傾向

最近の家計の消費支出の傾向は、「抑えてる」家庭が39.5%、「変化なし」の家庭が43.1%、「増えている」家庭が17.4%となっている。

昨年の夏と比べ「抑えている」と「増えている」家庭が増加し、「変化なし」の家庭が減少した。



### (3) 消費支出の抑制理由

「消費支出を抑えている」と回答した方に、その理由（複数回答）を尋ねたところ、「世帯収入の減少」が最も多く、「出産・進学等が予想される」、「将来の雇用・収入不安」と続いている。

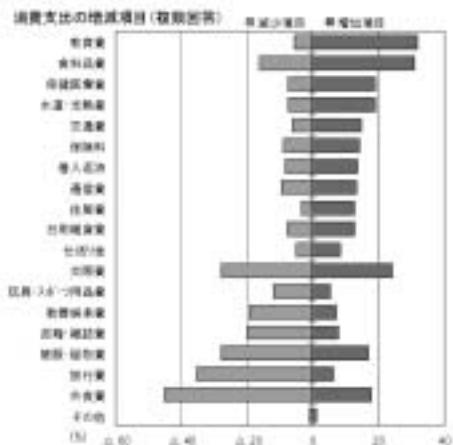
昨年の夏と比べ「世帯収入の減少」は大幅に減少したが、消費支出が抑制される最大の理由となっている。



### (4) 消費支出が増えた項目・減った項目

増加項目（複数回答）は、「教育費」、「食料品費」、「交際費」の順で、昨年夏と比べガソリン価格の高騰に伴い「交通費」の割合が增加了。

減少項目は、「外食費」、「旅行費」、「被服・履物費」の順となっている。



**国 内 経 済 指 標**

	実質国内総生産(季調済)	機械受注額(船舶・電力を除く民間需)	建設工事受注(50社)	所定外労働時間(製造業)	全百貨店販売額	貿易通関額		外國為替相場 米ドル直物終値	公定歩合		長期プライムレート	
						輸出	輸入		実施日	利率	実施日	利率
年度比 前期比	前年比	前年比	前年比	前年比		億円	円/ドル	年月日	年%	年月日	年%	
14 年	1.1	▲ 3.7	▲ 8.8	4.2	▲ 2.1	521,090	422,275	119.35	1.10.11	3.75	16.12.10	1.55
15 年	2.3	8.2	0.1	10.4	▲ 2.6	545,484	443,620	106.97	1.12.25	4.25	17. 3.10	1.65
16 年	1.7	6.5	8.3	7.5	▲ 2.8	r611,700	492,166	103.78	2. 3.20	5.25	17. 4. 8	1.55
17 年	r 3.2	5.6	▲ 1.0	▲ 0.4	▲ 0.5	p656,565	p569,494	117.18	2. 8.30	6.00	17. 5.10	1.50
5	(4-6)	▲ 2.7	0.5	▲ 2.4	▲ 1.4	47,952	45,105	108.17	3. 7. 1	5.50	17. 6.10	1.45
6	1.3	5.4	▲ 5.2	▲ 1.1	0.7	54,782	46,199	110.37	3.11.14	5.00	17. 8.10	1.60
7	10.0	20.8	▲ 0.5	0.6	55,368	46,748	112.18	3.12.30	4.50	17. 9. 9	1.55	
8	(7-9)	13.4	▲ 0.4	▲ 0.5	▲ 1.1	52,200	51,174	111.42	4. 4. 1	3.75	17.10.12	1.80
9	r0.3	4.8	0.6	▲ 1.6	0.0	59,271	49,785	113.28	4. 7.27	3.25	17.11.10	1.90
10	8.5	0.6	0.5	▲ 0.4	59,106	50,927	115.67	5. 2. 4	2.50	17.12. 9	1.85	
11	(10-12)	0.2	▲ 5.2	1.6	3.1	59,136	53,192	119.46	5. 9.21	1.75	18. 1.11	1.80
12	1.1	15.5	13.2	3.4	0.9	63,371	54,288	117.48	7. 4.14	1.00	18. 2.10	2.00
18. 1	9.8	▲ 21.5	3.6	▲ 0.9	50,083	53,619	117.18	7. 9. 8	0.50	18. 3.10	2.10	
2	(1-3)	8.2	27.4	4.5	0.3	58,495	49,027	116.35	13. 2.13	0.35	18. 4.10	2.45
3	r0.8	▲ 1.6	▲ 15.7	4.5	1.8	r 68,155	r 58,477	117.47	13. 3. 1	0.25	18. 5.10	2.50
4		12.2	2.7	r5.0	▲ 0.4	r 61,289	r 54,791	114.32	13. 9.19	0.10	18. 6. 9	2.45
5		15.8	▲ 0.2	4.2	▲ 1.1	r 57,037	p 53,209	111.85	18. 7.14	0.40	18. 7.11	2.65
調査機関	内閣府	国土交通省	厚生労働省	経済産業省	財務省			日本銀行		みずほコーポレート銀行		

pは速報値、rは修正値

**鳥取県経済指標(1)**

	推計人口 (注1)	推計世帯数 (注1)	景気動向指数			電力消費量			公共工事保証実績			
			先行指	一致指	遅行指	総数	前年比	大口電力	前年比	件数	請負金額	前年比
単位	人	世帯	%			百万Kwh	%	百万Kwh	%	件	百万円	%
14 年	612,594	206,473				3,616.4	1.4	832.7	4.0	4,198	179,034	▲15.5
15 年	611,073	207,878	※	※	※	3,641.3	0.7	860.9	3.4	3,903	147,144	▲17.8
16 年	609,858	210,259				3,800.1	4.4	922.7	7.2	3,337	127,179	▲13.6
17 年	607,271	211,934				3,858.7	1.5	919.4	▲0.4	3,461	119,352	▲ 6.2
5	607,871	211,216	50.0	37.5	50.0	280.6	1.8	70.2	▲ 4.3	128	13,777	41.6
6	607,571	211,351	25.0	50.0	16.7	276.4	▲ 2.7	76.4	▲ 5.0	225	11,692	▲ 1.5
7	607,475	211,508	37.5	37.5	50.0	323.5	▲ 1.9	84.1	▲ 4.5	276	7,942	▲33.6
8	607,279	211,612	75.0	37.5	33.3	353.0	▲ 5.9	84.6	▲ 0.2	263	10,401	▲ 5.5
9	607,383	211,784	37.5	31.3	50.0	361.7	3.9	82.0	▲ 1.4	315	11,028	7.9
10	607,271	211,934	75.0	75.0	50.0	311.1	1.3	77.9	▲ 2.5	404	12,214	▲21.1
11	607,207	212,188	62.5	62.5	66.7	296.1	1.2	74.0	▲ 2.8	297	7,323	▲11.1
12	607,046	212,420	87.5	75.0	83.3	322.2	7.7	76.2	0.2	327	6,722	▲16.1
18. 1	606,890	212,505	56.3	100.0	83.3	375.4	9.3	74.1	1.0	263	7,014	37.0
2	606,569	212,579	37.5	75.0	58.3	349.6	3.5	72.9	4.0	172	6,064	6.5
3	606,277	212,713	50.0	43.8	75.0	328.7	0.3	78.0	2.1	282	14,530	▲ 7.8
4	603,936	211,849	75.0	37.5	20.0	330.5	1.7	73.7	▲ 0.5	136	13,507	15.6
5	604,814	213,369				294.2	4.8	78.6	12.0	101	4,146	▲69.9
調査機関	鳥取県統計課					中国電力(株)鳥取支店				西日本建設業保証(株)		

注1：年別は10月1日現在、月別は1日現在。

※鉱工業生産指数の年間補正に伴い廻及改定有。

**鳥取県経済指標(2)**

	出荷指數 (注1)	在庫指數 (注1)	新設住宅着工					百貨店売上高		スーパー売上高 (注2)		
			総数	前年比	持家 (分譲を含む)	前年比	貸家 (賃借を含む)	前年比	県内3 百貨店	前年比	県内14社	前年比 (既存店)
単位	前年比		戸	%	戸	%	戸	%	百万円	%	百万円	%
14年	▲ 3.6	▲ 17.0	4,798	▲ 14.7	2,199	▲ 14.0	2,599	▲ 15.4	29,960	▲ 1.8	45,152	▲ 2.4
15年	1.4	▲ 0.9	4,581	▲ 4.5	1,988	▲ 9.6	2,593	▲ 0.2	28,467	▲ 5.0	40,356	▲ 3.5
16年	13.5	0.5	4,760	3.9	1,894	▲ 4.7	2,866	10.5	26,930	▲ 5.4	41,314	▲ 5.0
17年	▲ 6.4	2.4	4,168	▲ 12.4	2,193	15.8	1,975	▲ 31.1	26,246	▲ 2.5	42,939	▲ 3.5
5	▲ 13.3	▲ 2.0	447	12.0	250	32.3	197	▲ 6.2	2,063	▲ 1.9	3,439	▲ 5.2
6	▲ 8.3	▲ 3.9	363	▲ 45.4	258	38.7	105	▲ 78.1	2,012	3.2	3,451	▲ 3.8
7	▲ 13.4	2.5	307	▲ 54.9	183	▲ 9.0	124	▲ 74.1	2,388	▲ 3.9	3,661	0.1
8	▲ 14.5	2.2	405	66.0	181	19.9	224	140.9	2,002	▲ 0.1	3,845	▲ 4.8
9	▲ 15.2	3.2	260	▲ 47.6	157	5.4	103	▲ 70.3	1,919	▲ 6.7	3,401	▲ 0.6
10	0.6	6.0	435	2.4	201	14.9	234	▲ 6.4	2,162	▲ 1.6	3,412	▲ 1.7
11	▲ 8.3	2.2	287	▲ 20.7	195	51.2	92	▲ 60.5	2,284	0.5	3,292	▲ 1.6
12	▲ 18.8	3.2	320	21.7	134	21.7	186	14.8	2,934	▲ 2.5	3,813	▲ 4.5
18. 1	▲ 20.9	2.5	128	▲ 61.9	78	▲ 55.7	50	▲ 68.8	2,430	2.9	3,926	▲ 9.0
2	5.1	▲ 0.8	373	14.1	188	14.6	185	13.5	1,774	▲ 2.3	2,996	▲ 4.1
3	▲ 7.3	▲ 8.8	212	▲ 22.3	170	30.8	42	▲ 70.6	2,173	▲ 2.7	2,962	▲ 0.9
4	▲ 15.6	▲ 1.4	321	▲ 21.3	236	43.9	85	▲ 65.2	2,044	▲ 1.3	3,369	▲ 3.5
5			453	1.3	219	▲ 12.4	234	18.8	2,008	▲ 2.7	p▲ 0.1	
調査機関	鳥取県統計課		国土交通省					当行	鳥取県統計課			

注1：鳥取県鉱工業指数（17年年間補正に伴ない廻及改訂有。）

注2：スーパー売上高のp（速報値）は中国経済産業局調べ

**鳥取県経済指標(3)**

	新車販売			中古車販売		消費者物価指数		求人倍率		常用雇用指数		
	乗用車	前年比	軽自動車	前年比	新規登録	前年比	鳥取市	前年比	新規	有効	事務所規模 (30人以上)	前年比
単位	台	%	台	%	台	%	12年=100	%	倍(季節調整済)	12年=100	%	
14年	15,717	▲ 0.6	17,792	▲ 2.0	5,499	▲ 3.4	99.0	▲ 0.8	1.16	0.60	94.9	▲ 6.0
15年	15,100	▲ 3.9	15,601	▲ 12.3	5,160	▲ 6.2	98.5	▲ 0.5	1.17	0.68	94.9	0.0
16年	14,659	▲ 2.9	15,411	▲ 1.2	5,157	▲ 0.1	98.3	▲ 0.2	1.25	0.80	95.9	1.1
17年	14,163	▲ 3.4	15,013	▲ 2.6	5,048	▲ 2.1	97.9	▲ 0.4	1.20	0.77	95.9	0.0
5	967	8.3	1,051	1.4	408	8.8	98.1	▲ 0.2	1.60	0.74	98.0	0.5
6	1,156	6.2	1,174	1.6	466	0.4	97.5	▲ 0.7	1.14	0.74	98.4	0.7
7	1,160	▲ 13.8	1,320	3.7	438	▲ 7.2	97.5	▲ 0.2	1.18	0.73	97.8	4.2
8	824	▲ 10.3	895	1.7	389	16.5	97.4	▲ 0.6	1.14	0.75	98.0	0.2
9	1,352	▲ 6.0	1,241	▲ 10.3	421	▲ 3.7	97.2	▲ 1.3	1.28	0.75	97.6	▲ 1.1
10	1,003	18.7	1,104	2.8	400	8.4	98.0	▲ 1.3	1.31	0.81	97.3	▲ 1.7
11	1,036	▲ 10.3	1,161	10.3	373	▲ 3.6	97.5	▲ 1.9	1.20	0.81	98.2	▲ 0.8
12	920	▲ 13.4	1,162	10.4	364	▲ 17.1	97.6	▲ 1.0	1.37	0.82	98.5	▲ 1.1
18. 1	789	0.3	921	▲ 0.6	219	▲ 25.0	98.3	▲ 0.2	1.31	0.83	97.6	▲ 1.6
2	1,293	3.5	1,474	10.9	345	2.4	97.4	▲ 1.0	1.24	0.81	96.7	▲ 1.0
3	2,579	▲ 7.8	2,527	▲ 1.4	651	4.2	97.6	▲ 0.8	1.32	0.83	96.2	▲ 0.5
4	838	▲ 8.0	1,140	5.0	471	▲ 12.0	97.7	▲ 0.6	1.24	0.80	96.4	▲ 1.8
5	788	▲ 18.5	1,088	3.5	406	▲ 0.5	98.3	0.2	1.13	0.78		
調査機関	鳥取県自動車販売店協会					鳥取県統計課		鳥取労働局		鳥取県統計課		

**鳥取県経済指標(4)**

	勤労者世帯消費支出 (注1)	前年比	常用労働者1人平均月間現金給与総額 (事業所規模30人以上)	通関実績(境税関支署管内)				境港漁獲実績				
				前年比	輸出	前年比	輸入	前年比	数量	前年比	金額	前年比
単位	円	%	円	%	百万円	%	百万円	%	トン	%	百万円	%
14年	266,332	▲14.1	302,404	▲2.8	35,952	12.1	42,056	▲4.5	100,223	0.0	18,580	2.7
15年	285,123	7.1	305,650	4.6	36,377	1.2	41,283	▲1.8	121,706	21.4	18,479	▲0.5
16年	284,216	▲0.3	325,985	0.9	42,383	16.5	47,516	15.1	115,921	▲4.8	18,506	0.2
17年	293,827	3.4	308,546	▲0.1	46,906	10.7	46,900	▲1.8	95,687	▲17.5	17,967	▲2.9
5	338,304	36.3	253,139	0.2	3,654	12.6	3,747	19.4	9,050	▲35.5	1,164	▲9.9
6	324,843	28.2	452,085	1.4	3,823	9.3	3,832	▲26.0	9,095	▲4.1	1,909	47.6
7	341,749	35.2	323,816	▲7.1	3,830	5.2	4,466	19.3	5,639	▲31.2	2,561	15.4
8	353,958	2.9	272,562	▲3.8	3,638	10.5	4,123	▲11.5	3,623	▲7.5	970	▲6.2
9	266,807	5.6	254,981	0.9	3,720	▲1.0	5,335	5.3	6,258	▲17.5	977	▲21.2
10	273,989	▲6.0	256,695	2.3	4,108	12.8	3,556	▲3.1	10,315	22.7	1,349	▲12.3
11	256,733	▲18.9	264,308	4.5	3,961	13.8	3,327	▲16.4	13,277	▲26.0	2,036	▲12.6
12	293,268	▲14.4	583,854	4.8	5,054	26.6	4,118	15.4	7,686	▲46.7	1,936	▲18.3
18. 1	293,502	11.3	261,565	▲3.6	3,582	4.9	4,812	21.0	8,913	29.8	1,393	17.0
2	273,669	11.7	255,184	2.0	4,533	14.0	3,938	24.5	5,072	▲9.4	1,058	▲2.1
3	336,350	16.0	256,960	0.8	4,934	26.2	3,933	9.0	2,366	▲78.0	841	▲36.0
4	334,227	20.5	263,579	0.1	4,660	18.8	4,314	18.4	7,146	▲4.0	1,192	▲20.1
5	281,852	▲16.7							9,781	8.1	1,348	15.8
調査機関	総務省統計局		鳥取県統計課		境税関支署				(株)境港水産振興協会			

注1：月平均

**鳥取県経済指標(5)**

	鳥取県銀行協会 会員銀行				不渡手形				企業倒産			
	預金	前年比	貸出金	前年比	枚数	前年比	金額	前年比	件数	前年比	負債総額	前年比
単位	億円	%	億円	%	枚	%	百万円	%	件	%	百万円	%
14年	18,246	1.0	11,523	▲0.4	854	▲17.8	882	▲4.9	62	▲21.5	15,064	16.5
15年	18,202	▲0.2	11,840	2.7	1,062	24.4	1,266	43.5	87	40.3	23,144	53.6
16年	18,187	▲0.1	11,509	▲2.8	627	▲41.0	676	▲46.6	59	▲32.2	14,982	▲35.3
17年	18,339	0.8	11,688	1.6	432	▲31.1	269	▲60.2	39	▲27.8	11,841	▲18.4
5	18,432	1.0	11,333	▲1.5	29	▲38.3	19	▲18.9	3	▲50.0	490	16.7
6	18,854	1.2	11,242	▲1.6	71	545.5	24	558.5	2	0.0	330	94.1
7	18,688	1.2	11,304	▲1.6	12	▲81.3	3	▲97.4	2	▲60.0	265	▲72.2
8	18,446	0.8	11,341	▲1.0	29	▲59.7	22	▲83.4	5	66.7	508	▲61.8
9	18,261	1.1	11,504	▲0.1	25	▲73.1	16	▲86.5	1	▲50.0	70	▲95.5
10	18,102	0.5	11,495	0.6	43	290.9	24	49.9	4	▲33.3	705	16.1
11	18,284	0.8	11,577	1.1	35	▲56.8	21	▲59.2	3	▲25.0	5,840	1258.1
12	18,339	0.8	11,688	1.6	19	▲51.3	8	▲63.2	3	▲40.0	444	▲4.5
18. 1	18,023	0.8	11,649	1.8	63	40.0	43	119.9	5	25.0	4,760	773.4
2	17,998	0.0	11,676	0.6	90	190.3	56	124.2	6	200.0	527	▲50.7
3	18,363	0.8	11,715	2.8	71	77.5	36	49.9	5	66.7	1,820	1037.5
4	18,212	0.8	11,409	3.2	30	▲43.4	31	▲52.1	7	0.0	6,869	385.8
5	18,281	▲0.8	11,459	1.1	55	89.7	29	55.6	5	66.7	2,551	420.6
調査機関	鳥取県銀行協会				県内(3市)手形交換所				(株)東京商工リサーチ鳥取支店			

# 経済日誌

## '06年5月

### 鳥取県内

- 1日 鳥取県とコンビニ大手のローソンは、県産加工食品の店舗でのテスト販売や地産地消・地産他消の協力、災害時の物資供給など包括業務契約を結んだ。
- 8日 皆生温泉の老舗旅館「ひさご屋」の経営が行き詰まり、銀行取引停止になったことが分かった。東京リサーチ米子支店によると、負債総額は約21億円。営業は継続する方針で、営業譲渡先を探している。
- 15日 三洋電機（本社、大阪市）と鳥取大学は、自社開発の電解水技術に鳥インフルエンザウイルスを抑制する効果があることを確かめたと発表した。電解水を染み込ませたフィルターに「除菌エレメント」や噴霧する「電解ミスト」にウイルスを通すと、99%以上が死滅したという。航空機や電車など公共交通機関で使用する空気清浄機に応用したいと考えている。
- 17日 鳥取県は、職員では困難になっている税外未収金の回収について、試行的に民間の債権回収会社に委託する方針を固め、事業費350万円を6月補正予算に盛り込んだ。
- 18日 鳥取三洋電機（本社、鳥取市）は、06年3月期決算を発表した。売上高は前期比2.4%減の1,224億4,000万円、経常利益は同72.0%増の61億6,500万円と減収増益になったが、不良資産の処理を進めたことから、86億7,900万円の純損失となった。
- 25日 鳥取市は、36億8,700万円の本年度一般会計補正予算を発表した。4月の当初予算が市長選を控えた骨格予算だったため、新規事業などを「肉付け」した予算。補正後の総額は818億4,200万円で、前年度当初予算と比べて2.8%減り、市町村合併後の実質初年度となつた05年度から2年連続の「緊縮型予算」となつた。

### 国内・海外

- 10日 金融庁は、所属する公認会計士がカネボウ粉飾決算事件に関与していた中央青山監査法人に、上場企業などの監査を7月1日から2ヶ月間差し止める一部業務停止命令を出した。
- 10日 米連邦準備制度理事会（FRB）は、政策金利のフェデラルファンド（FF）金利の誘導目標を0.25%引き上げ、約5年ぶりに年5%とすることを全会一致で決定、即日実施した。今後の金融政策については、追加利上げの可能性が残るとの判断を示した。
- 15日 日本銀行が発表した4月の国内企業物価指数（00年=100、速報）は99.9で前年比2.5%上昇した。プラスは26ヶ月連続で、指数の水準も00年9月以来、約5年ぶりの高水準となった。国際的な商品市場の上昇に伴い非鉄金属の価格が上昇したことが全体を押し上げた。
- 15日 財務省が発表した05年度の国際収支速報によると、経常収支は前年度比3.9%増の18兆9,213億円の黒字と3年連続で過去最高を更新した。原油高の影響で貿易黒字は4年ぶりに減少。一方、所得収支が前年度比30.3%増の12兆5,634億円に拡大し、初めて貿易黒字を上回った。
- 16日 与謝野経済財政担当相は、5月の月例経済報告を関係閣僚会議に提出した。景気の基調判断は「回復している」と3ヵ月続けて据え置いたが、個別項目で輸入の判断を引き上げた。02年2月に始まった今の景気拡大期は52ヶ月となり、57ヶ月の「いざなぎ景気」に次ぐ戦後2位の大型景気となった。
- 19日 内閣府が発表した今年1~3月期の国内総生産は実質ベースで年率1.9%増と、5・四半期連続のプラス成長となった。05年度は3.0%増と、90年度以来の高い伸びを記録。